

# とみや議会だより

第2号



▲ 湯船寺本堂の欄間

平成28年 第4回定例会 議案審議 …P 3  
一般質問 ……………P 8  
よりよいまちづくりのために ……P19  
委員会報告  
宅地開発負担金に関する調査特別  
委員会 最終報告 ……………P22

2017年(平成29年) 2月1日発行

発行責任者/富谷市議会議長  
編集/議会広報調査特別委員会  
〒981-3392  
宮城県富谷市富谷坂松田30番地  
Tel.022-358-0622

ホームページ

富谷市議会

検索





あけましておめでとうとうございませす  
 本年もよろしくお願ひ申し上げませす



年頭のごあいさつ

飛躍の干支であります丁酉・平成29年の新春を迎え、市民の皆様方に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

市民の皆様方には日頃より市政と議会活動に對しまして、多大なるご協力とご理解を賜りましたこと、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

昨年の富谷市を顧みますと、若生裕俊市長の下、行政と議会、そして市民の皆様方が一致団結し、オール富谷で「住みたくなく極的に展開しました。そして、ついに長年の目標であった市制施行を成し遂げられたことは、全市民にとりましてこの上ない喜びであります。

議会と致しましても新年を迎え、ふるさと富谷村から町へ、町から市へと変遷した歴史の重みをしっかりと再認識し、市制移行を絶好の機会ととらえ、百年先を見据えたまちづくりに進捗することが責務と思うところがあります。議員20人が一丸となり一層の住民福祉の増進に資するため、調査研究を進めていく決意ですので、更なるご理解とご鞭撻をお願い申し上げます。結びに、富谷市の限りない発展と、市民の皆様方の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。

富谷市議会議長

浅野 幹雄

# ● 平成28年 第4回定例会 議案審議 ●

## 富谷市のこんなことが決まりました

第4回定例会 会期9日間 平成28年12月5日～12月13日

市長提出議案…21件  
議員提出議案…2件

今号では  
6件を  
ピックアップ



▲ 旧役場庁舎

補正予算

旧役場庁舎を

(仮称)富谷まちづくり

産業交流プラザに

平成28年度一般会計補正予算は5億2242万円を追加し、総額を139億3059万円とします。  
・旧庁舎を改修し(仮称)富谷まちづくり産業交流プラザを整備します。シルバー人材センターと民俗ギャラリーが設けられ、起業・創業支援なども行われます。設計費として1500

万円が計上されました。臨時福祉給付金支給事業は、3月中旬に申請書を送付し、4月から給付開始の予定です。  
・障がい者の自立支援サービス利用増に伴い費用を追加します。  
・富谷中央公民館の大ホールと図書室の空調設備設置工事を実施します。

・子ども医療助成費は医療費の給付件数増により増額します。  
・二ノ関地区に消防ポンプと軽積載車、ポンプ格納庫を整備します。

・(仮称)子育て世代支援センター新設のため軽自動車2台購入します。

### ●● 主なつかいみち ●●

- 経済対策分臨時福祉給付金支給事業 9,302万円
- 障害者自立支援給付事業 8,550万円
- 公民館維持管理事業 3,297万円
- 子ども医療費助成事業 3,180万円

## 富谷市福祉健康センター条例の一部改正について

# 福祉健康センターの運営が指定管理に

高齢者福祉施設としての設置目的を明確にするものです。運営においては事業者の持つノウハウを活用し、サービスの質の向上と多様な住民ニーズに対応します。事業を

効果的、効率的に運営できる指定管理者制度導入と、指定管理者による福祉健康センターの業務を定めるものです。

**問** 利用料金は。

**答** 60歳以上の方からは利用料を取りません。それ以外で利用の団体等からは利用料を徴収しますが、福祉団体等は減免になります。

**問** 地域活動支援センターの指定管理期間は。

**答** 5年間です。事業の安定性とサービス内容の定着性を考慮したものです。

**問** 指定管理にした場合のセンター運営費は。

**答** 指定管理料は、全体的に見れば削減につながると思われます。



## 討

### 良質な公共サービスの方向性を明らかにせよ

**反対** 藤原 峻 議員

平成25年3月発行の（公財）東京市町村自治調査会「指定管理者制度の運用に関する実態調査報告書」では、モニタリングや評価の仕組み、制度の導入効果が実感できない等が課題として挙げられており、サービスの質の向上に繋がるのか疑問が残ります。

また、協定の中身や運用のガイドラインなどが示されない中では、どのような運用になるのか分かりません。良質な公共サービスの方向性を明らかにすることを求め、反対します。

## 論

### サービス向上と経費削減に期待

**賛成** 若生 英俊 議員

施設の管理運営を効果的効率的に行い、高齢者の福祉向上に資するには、事業者の持つノウハウを活用し、利用者へのサービスと利便性の向上を図るとともに、施設の管理経費削減が期待できる指定管理者による管理が求められています。

富谷市福祉健康センターが、設置目的にかなった公共施設として適切な管理がなされ、質の高い住民サービスへの提供とより一層の高齢者福祉の向上に資するよう求め、提案された条例改正に賛成します。

## 富谷市内部組織設置条例の一部改正について



市制施行にともない、住民ニーズはさらに複雑・多様化することが見込まれます。職員の資質向上と、専門性を高め、まちづくり基本構想の迅速かつ確実な実現を図るため、2部1室を新設する改正です。

**問** 総務部の市民協働に関する業務内容は。

**答** まちづくり基本条例、行政区長との連携も含めたまちづくり全般と、相談業務を担います。

**問** 今回の組織改編での人件費の増加はいくらか。

**答** 仮算定で、部長2人、課長5人増の場合で約540万円の増額です。

**問** 組織の肥大化、スリム化の検証は。

**答** 富谷市と同程度の自治体と比べて大きい規模ではありません。また、富谷市は、級別の職員の年齢構成バランスが悪く、職員の構成バランスを適正にするためです。

# 富谷市公の施設に係る 指定管理者の指定手続等 に関する条例の制定について

おおよげ

地方自治法244条の2第3項の規定に基づき、指定管理者指定手続等に係る通則条例を制定するものです。

各施設に共通する指定の手続きについての通則的な事項を定めるものです。指定管理者の管理の基準や業務の範囲については施設により性質が異なるため、各施設の公の施設設置条例でそれぞれ整備されるものです。

**問** 指定管理制度が適用可能な公の施設は。

- 答** 市が管理しているすべての施設です。建物公共に加入している公の施設数は133件です。
- 問** これから拡大していく方向か。
- 答** 基本的には有効に活用していく必要があると考えています。
- 問** 職員の人件費は。
- 答** 指定管理者の部分では、人件費は削減の方向にはなると思います。
- 問** 報告書の提出と指定管理者に対する監督は。
- 答** 協定の中には事業計画書、報告書もあわせて確認しなければならぬとあります。
- 問** 人件費の確保など、労働条件は適正か。
- 答** 労働条件等も選定をする上での一つの基準になるかと思えます。
- 問** 現在富谷での指定管理状況は。
- 答** 地域活動支援センターの1カ所です。
- 問** 全体のガイドラインを作成する予定は。
- 答** 検討します。
- 問** 管理者への調査や管理は。
- 答** 積極的に管理指導を行っていきます。

## これまでどおり市直営で 管理すべき

**反対** 佐藤 聖子 議員

指定管理は一般競争入札実施でコスト削減が求められることは全国の例から明らかです。なかでも人件費削減によるコスト削減の例は多く聞かれます。労働者の権利がな

いがるにされ「官から民へ」が進み、経済状況に応じたサービス利用になれば、民間のサービスと同じになります。

公の施設はそれぞれが市民と行政を結ぶものです。市職員が市民の状況を肌で感じ、じかに声を聞くことを第一にするのであれば、これまでどおり、市直営で管理すべきと考え反対します。

## 常に市民への サービス向上を

**賛成** 山路 清一 議員

地方自治法に、公の施設の目的を効果的に達成するため必要と認めるときは、条例の定めるところにより、指定管理者に

当該施設の管理を行わせ、サービスの質、コスト面など総合的に評価して決定することを定めている重要な法令があります。

競争入札によるコスト削減の課題も考えられますが、管理条件等により富谷市民が期待するサービス向上を、常に追求する企業を指定管理者として迎えることを望み、かつ富谷市の更なる発展と公共施設管理の向上を望み賛成します。

## 討

## 論

## とみや子育て支援センター条例の 制定について きめ細やかな子育て 支援へ

平成29年4月開所予定のとみや子育て支援センター（明石台七丁目地内・愛称「とみここ」）の設置及び管理に関し、必要な事項を定める条例を制定するものです。

センターの設置目的は、妊産婦及び家族からの母子保健、育児に関する悩み等の相談に円滑に対応し、きめ細やかな子育て支援を図ることです。

利用対象者は、市内に居住する妊産婦等です。

業務内容は、母子手帳交付での相談から始まり、教室や訪問、妊娠、出産、子育てに関する相談及び支援を行い、妊産婦等の心身の健康状態や育児及び生活状況を把握し、関係機関との連携やネットワークづくりを図ります。

開設時間は、午前8時

30分から午後5時30分まで、休日は市の休日と同じです。

使用料は無料で、事業にともなう原材料費等の実費は利用者負担です。

**問** センターの職員は。

**答** 栄養士、心理職、保育士等が考えられますが、検討していきます。



# 意見書を提出しました

## 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方創生が、我が国の将来にとって重要な政治課題となり、その実現に向け大きな責任を有する地方議会の果たすべき役割は、ますます重要となっている。

このような状況の中、地方議会議員は、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について住民の意向をくみとり、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。

また、地方議会議員は、議会活動のほか地域における住民ニーズの把握等様々な議員活動を行っており、近年においては、都市部を中心に専門化が進んでいる状況にある。

一方で、統一地方選挙の結果をみると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

提出先 衆議院議長

## 有害鳥獣(イノシシ)駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める意見書

イノシシの生息域は拡大の一途を辿っており、宮城県内においては丸森町が生息域の北限と言われていましたが、現在では県北部までに広がっています。これらイノシシの生息域の拡大に従い、農作物等に深刻な打撃を与えていることは周知の通りです。また、イノシシの駆除頭数の増により、駆除したイノシシを埋設するための労働力不足及び環境悪化も懸念されます。かような状況に対して平成20年10月に宮城県が策定した、現在第二期を迎えている「宮城県イノシシ保護管理計画」を受け、本市においても「鳥獣被害防止計画」を策定しています。

想定を遥かに超えるイノシシの繁殖力の前に被害額の減少に至っていないばかりか、民家の庭先に群れで現れ餌を探すなど、住民の日常生活すらも大きく脅かしており、捕獲数が繁殖数に到底追いついていない状況です。よって、イノシシ個体数の更なる削減、農作物被害軽減及び人的被害防止を実現するよう、以下の項目を求めるものです。

記

### 1. 宮城県鳥獣被害防止総合支援事業交付金の増額について

年々増加するイノシシの個体数に対して、捕獲数も大幅に増加しておりますが、狩猟免許取得者及び箱わなの絶対数を増加させなければ効果的且つ切れ目のない対策が困難であるため、狩猟免許取得促進と捕獲機材購入費のための予算増額等の拡充を求めるものです。

### 2. 隣接自治体間及び各猟友会等の有機的な広域連携の制度化について

増大著しいイノシシの個体数を削減するためには、隣接自治体間及び各猟友会等の有機的な広域連携をすることが大きな効果をもたらすと思料されることから、自治体間の猟友会が密な情報交換を行い、有機的な連携を取ることに出来る制度の創設と、必要な予算措置を求めるものです。

提出先 宮城県知事

## 請願と陳情の提出方法

市民のみなさんは、市が行うことに関して意見や要望がある場合、請願書や陳情書を提出することができます。

### ●請願書

請願書を提出する場合は市の議員の紹介が必要になります。請願書が提出されると本会議で議長が所管事項に該当する委員会へ付託し、委員会で審査した後、本会議で採択か不採択、または保留を決定します。その結果は請願者に通知されます。また、採択した請願について議会が認めた場合は、執行機関ほか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めることになります。

### ●陳情書

陳情書を提出する場合は市の議員の紹介はいりません。陳情書には法的な効力が無いため、議員に配布されますが議長の判断により、所管事項に該当する委員会へ送付して審査するか決定します。本会議へ報告された後、関係機関に意見を付して処理を要請します。また、審査結果を陳情者に通知します。

### ●請願書・陳情書の提出

1. 文章で提出し、邦文をつかいます。
  2. 表紙に請願書(「陳情書」も同じ記入方法です。)と明記し、提出年月日、請願者(法人の場合は代表者)の住所、氏名を記載し、押印します。
  3. 請願内容を示す表題を付け、請願事項の簡潔明瞭な要旨と請願の理由を記載します。
  4. 請願書の場合は、紹介議員の署名、または記名押印が必要です。
- ※内容については、明確また簡潔に記載してください。

請願書・陳情書の書式例は富谷市議会HPをご覧ください。

## 陳情書

- 「高額療養費制度」「後期高齢者の窓口負担」見直しの慎重審議と現行制度継続を求める意見書の採択を求める陳情書

宮城県保険医協会  
理事長 井上博之

- 有害鳥獣(イノシシ)駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める意見書採択を求める陳情書

角田市議会  
議長 柄目孝治

- 国民年金等の削減をやめ最低保障年金制度創設等に関する意見書提出を求める陳情書

全日本年金者組合宮城県本部  
執行委員長 宮野賢一

- 東日本大震災による放射能汚染廃棄物の焼却処分に関する陳情書

丹野輝哉

すべて議員配付となりました。

## 第 4 回定例会 (12/5~12/13) 議案採決結果一覧

	議案	賛成	反対	議決結果	金子	青柳	若生	長谷川	畑山	齊藤	藤原	佐藤	浅野	西田	佐藤	山路	浅野	高橋	菅原	出川	相澤	渡邊	安住	浅野	提案者	
					透	信義	英俊	る美	和晴	秀行	峻	聖子	武志	嘉博	克彦	清一	直子	正俊	福治	博一	榮	俊一	稔幸	幹雄		
第4回定例会	富谷市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の制定について	16	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	とみや子育て支援センター条例の制定について	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	職員の給与に関する条例の一部改正について	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	富谷市内部組織設置条例の一部改正について	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	富谷市税条例の一部改正について	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	富谷市国民健康保険税条例の一部改正について	18	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	富谷市福祉健康センター条例の一部改正について	16	2	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	市
	平成28年度富谷市一般会計補正予算(第5号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長
	平成28年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	長
	平成28年度富谷市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	提
	平成28年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第3号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	提
	平成28年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	提
	平成28年度富谷市水道事業会計補正予算(第2号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
	相互救済事業経営の委託について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
	町の区域をあらたに画することについて	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
	富谷市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
	富谷市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
	富谷市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案
平成28年度富谷市水道事業会計補正予算(第3号)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	案	
地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書(案)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議員提案	
有害鳥獣(イノシシ)駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める意見書(案)	19	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議員提案	

○賛成 ×反対

※議長(浅野幹雄)は採決に加わりません。

※「富谷市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の制定について」、「とみや子育て支援センター条例の制定について」、「職員の給与に関する条例の一部改正について」、「議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について」、「特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正について」、「富谷市内部組織設置条例の一部改正について」、「富谷市税条例の一部改正について」、「富谷市国民健康保険税条例の一部改正について」、「富谷市福祉健康センター条例の一部改正について」は副議長(安住稔幸)が議長代理となったため、採決に加わりません。

# 19人の 議員が 問う

## 一般質問

第4回定例会では19人の議員が質問に立ちました。  
各議員が行った一般質問の概要を、9ページから  
18ページまで発言順に掲載しています。  
詳しくはインターネット録画でご覧いただけます。

**9P** **渡邊 俊一** 議員 No.1  
● 太子堂団地内の安全対策を問う

**9P** **高橋 正俊** 議員 No.2  
● 黒川南部地域の消防力強化は  
● 富谷市の防犯対策は

**10P** **若生 英俊** 議員 No.3  
● まちづくりの将来像については  
● 職員の処分等については

**10P** **西田 嘉博** 議員 No.4  
● 富ヶ丘公民館大ホール床の改善は  
● 外出支援「とみぱす」は

**11P** **菅原 福治** 議員 No.5  
● 高校生の通学費援助の予算化は  
● 介護サービスと地域のつながりは  
● スイーツ博は十分検討したのか

**11P** **佐藤 克彦** 議員 No.6  
● 富谷市の食育の基本姿勢は

**12P** **畑山 和晴** 議員 No.7  
● 富谷市のICT教育を問う  
● 屋内外で遊べる施設を問う

**12P** **山路 清一** 議員 No.8  
● 日吉台、杜乃橋等市道舗装を問う  
● 市道歩道除雪業務等を問う

**13P** **青柳 信義** 議員 No.9  
● 児童クラブ民間委託は万全か  
● バス乗り継ぎ実証運行途中経過は

**13P** **金子 透** 議員 No.10  
● 旧役場庁舎・土地の活用を問う  
● 市道の歩道整備を問う

**14P** **出川 博一** 議員 No.11  
● 平成29年度予算編成の基本方針は  
● 若者の意見はどう反映されるのか

**14P** **安住 稔幸** 議員 No.12  
● 来年のイベント等の開催を問う  
● 投票率向上にむけ利便性は

**15P** **浅野 直子** 議員 No.13  
● シティブランドに富谷茶再生は  
● 交通危険箇所調査と対策は

**15P** **長谷川 る美** 議員 No.14  
● 富谷市の今後の市政運営を問う  
● 富ヶ丘や団地部公園の除草管理は

**16P** **藤原 峻** 議員 No.15  
● 障がい者福祉の充実を問う  
● 公共交通の充実を問う

**16P** **浅野 武志** 議員 No.16  
● 古い町内会館の建て替えは  
● ブルーベリーの産地拡大取組は

**17P** **相澤 榮** 議員 No.17  
● 中学生国際交流事業の取り組みは

**17P** **佐藤 聖子** 議員 No.18  
● 放射性廃棄物焼却不安多過ぎでは  
● どうなる学校給食の米飯提供回数  
● 新年度の待機児童対策どう進める

**18P** **齊藤 秀行** 議員 No.19  
● 新生富谷市のリスクヘッジを問う



## 問 太子堂団地内の安全対策を問う

答 当初予算にて対応を検討します

市役所東側を通る都市計画道路、穀田三ノ関線の事業計画は、平成28年9月定例会において、市長の挨拶にありましたように、来年度に用地買収し平成32年度中の供用開始を目指す旨の年次計画が示されました。

これが完成すれば国道4号に頼らず、富谷市南部地域から市役所東側を通り「まるまつ」交差点の国道4号へ抜ける、南から北へ通じる最も便利な都市計画道路であり、



▲ 太子堂入口

計画年次に遅滞のないよう事業推進を強く望みますが、完成と同時に環境の変化に伴い、太子堂団地内の交通の安全について危惧されると考えます。国道4号に抜ける「まるまつ」交差点の渋滞を避けるため太子堂団地内を走行する車が増え、閑静な団地内の環境が破壊され、子どもたちの通学の安全においても大変危惧されるところであり、それを回避するための市道三ノ関大崎線の未整備地であります小松

自工から三ノ関会館前までの整備が必要と考え、質問します。

問 都市計画道路穀田三ノ関線の完成時における太子堂団地内の環境と通学時の子どもたちの安全対策について質問します。



渡邊 俊一 議員

答 道路標識の設置や路面表示などを考えてみます。

問 大雨のたびに冠水し通行止めになる市道三ノ関大崎線の未整備地の小松自工から三ノ関会館前までの改良工事を、穀田三ノ関線の完了と同時に供用できるよう整備促進することが大事と考えますが、市長の見解を求めます。

答 議員のご指摘の通り三ノ関大崎線の三ノ関会館前の改良の必要性は議員と同じ認識であり、32年の供用開始の状況を想定した上で、29年度の当初予算に向けて検討し、32年の供用開始の段階であわてることなく早目の対応と計画を検討します。

## 問 黒川南部地域の消防力強化は

答 出張所等検討することになっている

今年4月1日に、富谷出張所に救急車が配備され、2台体制になり、市民からは大変評価されています。また、10月1日には出張所から消防署に昇格し、消防に関する申請や許可は、ほとんどが富谷消防署でできるようになりました。これも、市長が消防担当理事として、リーダーシップを發揮し、黒川地域行政事務組合担当議員が協力し合い、積み重ねて来た結果だと思えます。

組合理事長が言っている黒川南部地域の消防力の強化について、質問します。

問 消防力を強化するには、富谷にもう一カ所、出張所が必要と考えますが、市長の考えは。

答 本市を含む黒川南部地域のさらなる消防力強化については、出張所も含め、現有消防力との比較に基づき検討を進めていくことになっていきます。

## 問 富谷市の防犯対策は

答 防犯意識の高揚を図っていききたい

問 わが町では、犯罪件数が増えているようすが、未然に事故、犯罪を防ぐために、経験と知識、すぐれた勘を持っている警察官OBの採用を考えた。

答 大変貴重な意見を参考にし、いろいろな角度で考え、今後の検討課題の参考としたいと思えます。



▲ 富谷消防署



高橋 正俊 議員

問 南部地域は、富谷だけでなく、大和町もあります。我が市で必要であり、特に明石周辺に必要だと考えますが、市長の考えは。

答 富谷の人口増加により現在の消防力では、不足していると認識しており、今後検討していきたいと考えています。

### 問 まちづくりの将来像については

答 限られた財源の中で進めます

富谷市の人口増加が顕著に鈍化しています。前年同月比では1977人増と初めて200人台を割り込み、「100年間に人がふえつづけるまち」の根幹が揺らぐのではないですか。また、築45年を超える旧庁舎を改修し施設として活用する計画は検討が不十分なまま進めていいの懸念されます。

せない市街化区域の編入にどう取り組んでいますか。

答 6万人の将来人口を設定している、その実現のために強い意思で県に要望していきます。

問 旧庁舎跡地利用の進捗状況は。

答 地方創生拠点整備交付金を活用して必要な改修工事を行い、複合的な

拠点施設として整備を図ることとしました。

問 住宅団地の側溝整備と市道改修の加速化を求めます。現行のペースで、富ヶ丘、鷹乃杜の整備完了までの年数は。

答 財政上、今後も現行どおり工事費約3000万円程度充て、進めます。完成までの年数は富ヶ丘31年、鷹乃杜45年です。



若生 英俊 議員



問 人口増加が鈍化している中、市街化区域編入は厳しい状況にあります。富谷の将来の発展に欠か

問 職員の処分等については  
答 懲戒処分でなく口頭厳重注意

児童館建設補助金を得られない職務上の重大ミスは、地公法上の職務上の義務違反に該当し、口頭による厳重注意にとどめたのは、はなはだ疑問です。

答 改めて行うことは考えていません。

問 職員分限懲戒審査会で処分内容の見直しは。

問 副市長の指導監督不適切による事務ミスで監督責任を問うべきでは。  
答 県内類似事案等を勘案し、適正と考えます。

### 問 富ヶ丘公民館大ホール床の改善は

答 ラバー材を含めて一度検討したい

富谷市総合計画（案）の前期基本計画では、生涯学習の活動拠点の整備

最重要プロジェクトとして「生涯学習の拠点施設である公民館施設の保全・補修を計画的に進め、安全で快適な学習環境の提供に努めるとともに、市民の誰もが利用しやすい施設の環境整備に努めます」とあります。

問 富ヶ丘公民館大ホールの床は、コンクリートの上に薄い塩ビ系の材料を張った程度の作りであ

るため、卓球・バレーボール愛好家などの利用者から膝への負担や転倒の危険性が大きいとの指摘があり、改善の要求が出ています。

このことについてどのように考えていますか。

答 全部を入れかえるとかかなりの経費がかさみます。それにかわるラバー材も最近多く出ており、そういったものを含めて、

一度検討させてほしいと思います。

問 大ホールで競技を行う場合、まぶしいので暗幕を閉めています。その開閉に脚立を使い、梯子を上り下りしなくてはならず、相当の危険性を伴います。市はどのように認識していますか。

答 公民館の職員が対応することも考え、今後検討していきたいです。



西田 嘉博 議員



▲ 富ヶ丘公民館大ホール

### 問 外出支援「とみばす」は

答 対象者全員に周知する

「とみばす」を申請できなかつた人は一年間待機することになります。

問 対象者にははがき等の郵送で知らせては。

答 対象者全員に周知徹底に努めます。

問 有資格者の未申請者は何人ですか。

答 3456人です。

## 問 高校生の通学費援助の予算化は

**答** 他自治体の例を参考に検討します

新年度は市政初の予算編成です。これまでの課題や市長の公約について質問します。

**問** 高校生の厳しい通学環境に対して、通学費援助の認識度合いは。

**答** 政策として非常に高い関心があり重要な問題として認識しています。

**問** 図書館建設は市制施行と同時に開館してほしかったです。スピードが遅いのは。

**答** ワークショップなどを実施し、富谷にふさわしい、良いものをつくるた



▲ 富谷高校前バス停



菅原 福治 議員

めに時間を掛けています。**問** パークゴルフ場の整備についてもスピードを。ご理解ください。

**答** 公約は忘れませんが、優先順位とタイミングを

## 問 介護サービスと地域のつながりは

**答** 町内会の協力無しに進めない

**問** 介護サポーター不足の対策と育成・研修は。

**答** 地域の方の幅広い参画と、地域に根づいた研修制度が重要との認識です。

**問** ケアパスを作成します。今後の社会保障として自己負担の2割対象拡大、高額医療サービス基準の引き上げなどがいわれていますが認識は。

**答** 何と言っても、介護保険を使わない施策が重要と考えます。また、負担割合などについては、国の審議会を注視します。

## 問 スイーツ博は十分検討したのか

**答** 十分協議を実施したが課題も発生

**問** 課題をしっかりと総括し次年度へつなげては。

**答** 来年度に向けて検証しながら進めます。

## 問 富谷市の食育の基本姿勢は

**答** 食育推進市として可能な限り努力

富谷市の食育に対する基本姿勢、方針が見えない給食と感じます。日本の食文化を大切に思い、富谷の子どもたちに継承してほしいと願う質問します。

**問** 富谷市の食育の基本姿勢と方針、食育教育を今後どのように進めるか。

**答** 第2期富谷市食育推進計画において4つの基本方針を掲げています。子どもたちが食を通して、豊かな心を育み正しい食習慣を身につけ成長



▲ 富谷市学校給食センター

に応じ機会を捉え、保護者、児童生徒に推進していきます。**問** 保育所、幼稚園、小・中学校での給食においての食育教育は。

**答** 学校教育重点施策の1つとして、各校、各園で食に関する指導の全体計画を作成し、給食時間はもとより、学校活動や道徳など教育活動全体で指導を行っています。

**問** 食農教育は今後のどのように対応しますか。食育の中で郷土食の利用は。

**答** 現在、第3期富谷市食育推進計画の策定中です。食育推進会議委員の意見、アンケート調査結果から課題の分析や食育推進状況等を精査します。本市の特性を生かした計画を策定し、食育を推進していきます。

食と農を一体として学



佐藤 克彦 議員

ぶことは大変重要と認識しており、農業を初め、地域産業、文化に関する学習や、収穫体験教室など、地域や関係団体等の協力を得ながら継続していきます。**問** 保育所の間食のあり方、指導はどのように行っていくですか。

**答** 保育所は、長い時間の保育になるので、午前と午後のおやつが提供されます。午後のおやつは手の込んだものを提供しています。市の栄養士の指導のもと、献立に十分考慮し栄養を提供していきます。地元農産物を可能な限り給食食材の活用にも努力します。日本の誇る食育推進市として可能な限り努力します。

### 問 富谷市のICT教育を問う

**答** 重点的に環境を整備していきます

文科省は、これから来る未来を予測して、生き残るために必要な能力や資質が何であるかを学校教育に取り入れ、その道具としてICTが必要だと発言しています。

**問** ICT教育が進んでいないのでは。

**答** 環境として全国調査とほぼ同一です。今後、加速的に環境も整備され充実も図られると思います。

**問** ICT教育の機器購入、教員の育成計画、支



援員の配置計画は。

**答** 来年度中学校、近い将来小学校のコンピュータを更新します。教員については、堪能な教員がいますので、この教員のスキルを広げていきます。支援員は、外部の人材等を活用していきます。

### 問 屋内外で遊べる施設を問う

**答** 要望の多い施設で今後検討したい

富谷市は子どもの多い市であり、要望の多い施設であり、三世代が笑顔で遊べる施設があることで、子育ての充実につながると思います。

**問** 市の所有地の活用は、効果的に場所を設定できないか検討したいと考えます。



畑山 和晴 議員

**問** 導入によるメリット・デメリットは。

**答** ICTを導入することで学習意欲を高め、授業内容の理解を支援することが期待できる一方、直接体験の減少、視力低下などの健康問題、教師の負担の増加が考えられます。

**問** 少子化対策としての効果もあると思いますが。

**答** 財政状況を考えながら検討したいと考えます。

**問** 「住みたくなるまち日本一」へのアピールになるとも思いますが。

**答** 市内外へのアピールになると認識しています。さまざまな取り組みを通じ発信していきます。

### 問 日吉台、杜乃橋等市道舗装を問う

**答** 交付金を活用し計画的に取り組む

市道の舗装面が経年劣化に伴い傷みが激しく改修・舗装工事計画が必要と考え質問します。

**問** 国道4号から日吉台地区内の全面舗装は。

**答** 国道4号から西に走る市道熊谷小野線は一部対応済みです。路面状態の調査により全面舗装を検討します。

**問** 国道4号から杜乃橋地区の全面舗装工事は。

**答** 市道熊谷前河原線から西に延長470mは、国の交付金事業を活用し



▲ 日吉台地区

来年度実施する計画です。

**問** 日吉台、杜乃橋地区で大和町管理の道路舗装は。

**答** 住民からの声もたびたびあります。行政区域の境界であり、大和町と情報を共有し、適切な住環境の確保に向け協力連携します。

**問** 道路の点検業務は。

**答** 月1回パトロールで目視点検、平成26年には

### 問 市道歩道除雪業務等を問う

**答** 通学路の安全確保に取り組んでいる

**問** 今年の歩道除雪作業委託路線は。

**答** 各小学校が指定している通学路で、住宅に接していない歩道を実施します。

**問** 除雪する積雪基準は。昨年度から15センチ



山路 清一 議員

専門業者へ委託し、路面状態の調査を行いました。

**問** 過去5年間の道路破損による物損事故は。

**答** 平成26年度3件、28年度1件です。

**問** 道路改修工事費が今後増加しますが対応は。

**答** 長期的に見据え、しっかりと計画的に行っていく予定です。

**問** 以上に見直しました。歩道融雪に対しては。

**答** 歩道の融雪は市で行っていません。市内各所に融雪剤を配置し、利用できるように地域のご協力をお願いしています。

## 問 児童クラブ民間委託は万全か

答 市と事業者との連携で対応します

平成29年4月より放課

後児童クラブ、土曜開所  
の実現で8カ所の運営委

託業者が3事業者に決ま  
りました。現在は児童指

導員、公民館副館長が地  
域の実情に合った連携で

児童一人ひとりの多種多  
様な環境に則したきめ細

やかな対応をとってきま  
しましたが、サービスの質が

維持していけるか不安で  
す。

問 民営化で今までどお  
りの対応は可能ですか。

答 その人に合った支援

を考えたと思います。

問 保護者の要求に対し  
ての対応は。

答 保護者へのアンケー  
トをとりながら対応を考

えたいと思います。

問 現場の児童指導員と  
運営委託に関して打ち合

わせは十分ですか。

答 現場の児童指導員と  
運営委託に関して打ち合

わせは十分です。

問 バス乗り継ぎ実証運行途中経過は

答 今後、できるだけ一  
人ひとりの話、意向など

は聞いていきます。

問 児童指導員の土曜休  
日勤務を含めた賃金格差

への対応は。

答 業者間で格差が出な  
いよう均等化を図ります。

問 1日59人の計画で3・9人です

答 富谷市の公共交通イン  
フラは避けて通れない喫

緊の課題です。生活圏域  
の実態を踏まえた公共交

通のあり方について、考  
えなければなりません。

問 乗り継ぎ地点の見直  
しとは、市役所発の便だ

けでなく、西部、南部循  
環線での乗り継ぎ地点の  
見直しですか。

答 議員の認識と同じ方

向で検討しています。

問 宮城交通へ最終バス  
深夜便復活の要望は。

答 市長より宮城交通社  
長へ、再度復帰の依頼を  
申し入れます。

問 冬場の朝の通勤ラッ  
シュ時間帯に、路線バス  
増便の申し入れは。

答 宮城交通と継続的に  
協議をしたいと思えます。

## 問 旧役場庁舎・土地の活用を問う

答 複合的な施設として整備します

旧役場庁舎は当時の字

町、現在の新町の中心に  
建設されました。新町は

宿場町「富谷宿」起源の  
地で富谷の礎です。新町

の活性化や富谷を発信す  
る拠点の整備を図るべき

と考えます。

問 旧役場庁舎、土地の  
活用はどのように考えて  
いますか。

答 「富谷宿」開宿40  
0年事業を視野に入れ、  
地方創生拠点整備交付金

を活用し改修工事を行い、  
民俗ギャラリーの移設、

シルバー人材センター  
ワークプラザの設置など、

複合的な拠点施設として  
整備し、新町地区のにぎ

わい創出や活性化に役立  
てたいと考えています。

問 観光資源の少ない富  
谷で、商工会やJAとも  
連携して観光協会、物産

協会などを立ち上げ、広  
く発信できる拠点として

問 市道の歩道整備を問う

答 富谷市の道路事情、交  
通環境について、本市は

仙台市の北に位置し、さ  
らに北には北部工業団地

があり、東には利府、多  
賀城の企業があり、西に

泉パークタウンの工業団  
地もあり、場所、時間に  
関係なくかなりの交通量  
となっております。

はいかがですか。

答 関係機関、団体、黒  
川商工会長、シルバー人  
材センター理事長とも協

議しながら、富谷の新た  
な発信拠点、さまざまな

可能性のある施設として  
有効に活用したいと思い  
ます。

問 市民の安心、安全を  
思えば歩道整備は必要で  
す。市の見解は。

答 交通量の増加ととも  
に歩行者の危険性も高  
まっており、歩道整備の  
必要性は認識しています。

市道の安全確保に向け努  
力します。

市道の安全確保に向け努  
力します。



青柳 信義 議員



金子 透 議員



▲放課後児童クラブ



▲旧役場庁舎

**問 平成29年度予算編成の基本方針は**

**答** まちづくりの実現に向けて取り組む

**問** 市の借金は今年度末見込みで72億円となり、平成22年度比39億円増えます。臨時財政対策債で32億円増えています。ユーマイタウン施設整備基金の積立てに18億円、財政調整基金の40億円前後の残高キープに向けられているとの見方は間違っていますか。

**答** 今後、実施計画を作成し、方向性を示します。

**問** ユーマイタウン施設整備基金の積立てに18億円、財政調整基金の40億円前後の残高キープに向けられているとの見方は間違っていますか。

**答** 市で管理している公有財産の全体件数は、施設。インフラの施設では道路延長で263km、上水道の管路延長で293km、下水道管路で205kmです。

**問** ユーマイタウン施設整備基金の積立てに18億円、財政調整基金の40億円前後の残高キープに向けられているとの見方は間違っていますか。

**答** 公共施設で約104施設。インフラの施設では道路延長で263km、上水道の管路延長で293km、下水道管路で205kmです。

**問** ユーマイタウン施設整備基金の積立てに18億円、財政調整基金の40億円前後の残高キープに向けられているとの見方は間違っていますか。

**答** 土曜日開館による児童指導員の人件費増と、学校敷地内で運営になるのではほとんどが人件費、事務的な部分を担う管理者の正規職員の人件費を見込んでいます。

**問** ユーマイタウン施設整備基金の積立てに18億円、財政調整基金の40億円前後の残高キープに向けられているとの見方は間違っていますか。

**答** 施設の長寿命化対策が財政上の大きな負担になるのでは。

**問** ユーマイタウン施設整備基金の積立てに18億円、財政調整基金の40億円前後の残高キープに向けられているとの見方は間違っていますか。

**答** 老朽化度合いにより維持修繕が必要であり、今後の大きな財政負担になると思います。

**問** ユーマイタウン施設整備基金の積立てに18億円、財政調整基金の40億円前後の残高キープに向けられているとの見方は間違っていますか。

**答** 補正予算可決後、業務の発注は行い、補助金の関係で29年度末に完成させなければなりません。

**問** ユーマイタウン施設整備基金の積立てに18億円、財政調整基金の40億円前後の残高キープに向けられているとの見方は間違っていますか。

**答** 児童クラブの民間委託により、土曜日開館等



出川 博一 議員

**問 来年のイベント等の開催を問う**

**答** 検証・協議し実施に向け検討する

11月12日・13日のとみや国際スイーツ博覧会、9月4日の町民体育祭、8月21日のとみやふるさとまつり、いずれも大盛況でした。しかし、課題も残されました。

**問** とみや国際スイーツ博覧会の来年への開催に向けての検討は。

**答** スイーツの富谷を内外に周知し、認知いただけたものと捉えています。皆様からのご意見をまとめ、来年の開催に向けて協議し検証します。

**問** とみや国際スイーツ博覧会の来年への開催に向けての検討は。

**答** 来年の市民体育祭の開催の方向性と、学校との共催で学区民運動会は、町と歩んできた体育祭であり、今後も継続していく方向です。多くの方が参加できるように検討したいと考えています。

**問** とみや国際スイーツ博覧会の来年への開催に向けての検討は。

**答** 学区民運動会は検討していきたいと思います。

**問** とみや国際スイーツ博覧会の来年への開催に向けての検討は。

**問** ふるさとまつりと市制施行1周年記念イベントとの組み合わせ開催や、

**答** 富谷総合計画基本構想の最重要プロジェクトで、富谷を内外にPRし、シティブランドを高める記念事業と考えています。

**問** とみや国際スイーツ博覧会の来年への開催に向けての検討は。

**問** 投票率向上にむけ利便性は

**答** 投票しやすい環境考えていきたい

**問** とみや国際スイーツ博覧会の来年への開催に向けての検討は。

**問** 投票所入場券の裏面への期日前投票用の宣誓書の印刷は。

**答** 宣誓書印刷は、円滑な投票の一つであると認識しています。引き続き研究します。

**問** とみや国際スイーツ博覧会の来年への開催に向けての検討は。

**問** 投票所入場券の裏面への期日前投票用の宣誓書の印刷は。

**答** 宣誓書印刷は、円滑な投票の一つであると認識しています。引き続き研究します。

**問** とみや国際スイーツ博覧会の来年への開催に向けての検討は。

**問** 投票所入場券の裏面への期日前投票用の宣誓書の印刷は。

**答** 宣誓書印刷は、円滑な投票の一つであると認識しています。引き続き研究します。

**問** とみや国際スイーツ博覧会の来年への開催に向けての検討は。

**問** 投票所入場券の裏面への期日前投票用の宣誓書の印刷は。

**答** 宣誓書印刷は、円滑な投票の一つであると認識しています。引き続き研究します。

**問** とみや国際スイーツ博覧会の来年への開催に向けての検討は。

**問** 投票所入場券の裏面への期日前投票用の宣誓書の印刷は。

**答** 宣誓書印刷は、円滑な投票の一つであると認識しています。引き続き研究します。

**問** とみや国際スイーツ博覧会の来年への開催に向けての検討は。

**問** 投票所入場券の裏面への期日前投票用の宣誓書の印刷は。

**答** 宣誓書印刷は、円滑な投票の一つであると認識しています。引き続き研究します。

**問** とみや国際スイーツ博覧会の来年への開催に向けての検討は。

**問** 投票所入場券の裏面への期日前投票用の宣誓書の印刷は。

**答** 宣誓書印刷は、円滑な投票の一つであると認識しています。引き続き研究します。



▲ とみや国際スイーツ博覧会



▲ 放課後児童クラブ

**問** 児童クラブの民間委託により、土曜日開館等

**答** 児童クラブの民間委託により、土曜日開館等

**問** 投票所入場券の裏面への期日前投票用の宣誓書の印刷は。

**答** 宣誓書印刷は、円滑な投票の一つであると認識しています。引き続き研究します。



安住 稔幸 議員

## 問 シティブランドに富谷茶再生は

**答** 富谷茶再生に努力していきたい

今こそ歴史をつなぎ、誰でも食することが出来るお茶「富谷茶」をシティブランドとして復活すべきと考え質問します。

**問** スイーツの材料になるような推進は。

**答** 積極的に取り入れていきたいと思えます。

## 問 交通危険箇所調査と対策は

**答** 改善求める声に対策講じています

**問** 重要なシティブランドの一つになり得るものと考えます。

**答** 関係機関と協議検討しながら富谷茶再生に向けて努力していきます。

**問** 富谷茶の育成課題は。

**答** 生産環境の整備や生産者の確保などです。

**問** 交通安全対策は非常に重要な課題であると言わざるを得ません。

**答** 国が進める交通事故対策事業に、重点的に取り組む対策エリアとして登録され、安全対策について検討を進めているところでは。

**問** 交通量の増加は市内全域で見られますが、危険箇所の調査と対応は。

**答** 「とみばす」が利用できる方へのタクシー支援補助が必要では。

**問** 現地調査を行い、関係課と協議しながら対策を講じています。

**答** やはり必要だということに検討していきたいと考えています。

**問** あけの平三丁目と大清水一丁目公園交差点付近の交通対策は、どのよ

**答** やりが必要だということに検討していきたいと考えています。



浅野 直子 議員

## 問 富谷市の今後の市政運営を問う

**答** 市政発展に努めていきます

富谷市誕生を全市民が喜び、市制施行後さらなる期待が膨らむ中、市長の目指す新たなまちづくりについて議論を深め、よりよい富谷市を目指すため以下質問します。

**問** 平成29年度予算編成方針と重点項目を通した市民への訴えは何ですか。

**答** 富谷市総合計画に掲げるまちづくりの将来像「住みたくなるまち日本一」の実現です。

**問** 予算編成過程の「見える化」をすべきでは。

**答** 富谷市総合計画基本構想に掲げた将来像の実現に向けて、各種施策を着実に実施、達成していくことです。

**問** 「住みたくなるまち日本一」の目標達成のため、重点プロジェクトの優先順位を明確にすべきでは。

**答** 富谷市総合計画基本構想に掲げた将来像の実現に向けて、各種施策を着実に実施、達成していくことです。

**問** 「住みたくなるまち日本一」の目標達成のため、重点プロジェクトの優先順位を明確にすべきでは。

**答** 追加申請は断念せざるを得ず、本庁での受け付けを継続します。

**問** 限られた予算の制約の中で、効率性や効果を

**答** 追加申請は断念せざるを得ず、本庁での受け付けを継続します。

## 問 富ヶ丘や団地部公園の除草管理は

**答** 全公園ではないが年3回実施検討

**問** 3回除草した場合に係る見込み額は。

**答** 56万円の増額となります。

**問** 約4100万円で、本年度と比較すると約5

**答** 56万円の増額となります。



長谷川る美 議員



▲ お茶の木 (二ノ関)

近の交通対策は、どのよ

考えています。



▲ 富谷市役所

本年度と比較すると約5

56万円の増額となります。

### 問 障がい者福祉の充実を問う

**答** 幅広い意見を検討します

富谷市は、今後も人口が増えると予想されており、おのずと障がいを持つ人も増えます。市制施行がなされた今だからこそ、誰もが安心して暮らせるまちをしっかりとつくっていく必要があります。

**問** 就労支援施設の整備・誘致は。

**答** 現在、2法人から就労継続支援B型施設を来年度より開設運営したい意向を伺っています。今後も市内において開設を



▲ 富谷市保健福祉総合支援センター

希望する法人等への積極的な支援に努めていきます。

**問** 施設を充実する考えは。

**答** 施設が不足していることは認識しており、積極的に市内でそういう場を提供できるように検討していきたいです。

**問** 宿泊訓練施設整備は。

**答** サービスの利用状況について注視し、対象者のニーズを把握します。

**問** 地域生活を支援する目的の「地域生活支援拠点」の整備は。

**答** 黒川圏域で整備を検討し、面的整備を想定しています。優先順位として



藤原 峻 議員

て、緊急の受け入れ対応を整備し、その他は段階的に整備をしていく予定です。

**問** 単独予算による専用居室の確保など検討は。

**答** 参考とします。

**問** 思いをくみあげる場の充実は。

**答** 今回、新たに相談支援事業所委託を増やすことで、より一層寄り添える支援を展開できると計画しています。また、第5期障がい者福祉計画策定に向け、アンケートを予定し、家族会へは直接聞き取りを行い、詳細なニーズの把握をしていきたいです。

### 問 古い町内会館の建て替えは

**答** 新設を含め協議を進めます

町内会館の整備については、毎年計画的に1町内会館の建て替えを行ってきています。

**問** 町内会館は、いろいろな会議また会員が集い趣味を楽しむ等会員の交流、コミュニティの場、災害発生時の一時避難場所等として会館の果たす役割は広範囲にわたり大変重要なものですか。

**答** 設備が整った快適な環境の下で活動ができる拠点として会館の建て替えが急務と考え質問します。

**問** 穀田会館については、平成30年12月竣工に向けて進めます。

**答** 平成30年12月竣工に向けて進めます。

**問** 明石会館は。

**答** 大黒澤苑を占有して使用できないことから、新設も含め協議していきます。



浅野 武志 議員

### 問 ブルーベリーの産地拡大取組は

**答** 市を挙げて努力します

平成28年度一般会計当初予算歳出総額は、129億2600万円です。市は「住みたくなるまち日本一」のまちづくりを目指して事業執行に取り組んでいます。

**問** ブルーベリー産地拡大事業の苗木申し込みと推進状況は。

**答** 7人で608本、面積は約4600㎡増です。

**問** 市が前面に立ち積極的に推進しては。

**答** 市が前面に立ち積極的に推進しては。

**問** 西成田会館は。

**答** 西成田コミュニティセンターを占有して使用できないことから、新設も含め協議を継続していきます。

**問** 産地拡大に市を挙げて努力していきます。

**答** 産地拡大に市を挙げて努力していきます。

**問** PRの方法は。

**答** 市のホームページ、専用サイトとしています。

**問** 富谷市ふるさと納税寄附金の金額と返礼品は。

**答** 件数は8件で、金額は1050万円です。返礼品は、金額に応じ4種類の中から選択します。

**問** 富谷市ふるさと納税寄附金の金額と返礼品は。

**答** 件数は8件で、金額は1050万円です。返礼品は、金額に応じ4種類の中から選択します。

**問** 富谷市ふるさと納税寄附金の金額と返礼品は。

**答** 件数は8件で、金額は1050万円です。返礼品は、金額に応じ4種類の中から選択します。

**問** 富谷市ふるさと納税寄附金の金額と返礼品は。

**答** 件数は8件で、金額は1050万円です。返礼品は、金額に応じ4種類の中から選択します。

**問** 富谷市ふるさと納税寄附金の金額と返礼品は。

**答** 件数は8件で、金額は1050万円です。返礼品は、金額に応じ4種類の中から選択します。



## 問 中学生国際交流事業の取り組みは

**答** 1月事前調査・研修先は台湾に

富谷市は子どもの多い

り組みは。

まちです。より多くの児童生徒が生きた英語や異文化の交流を通して、豊かな国際感覚を持つた子どもたちが増えることを願って次の質問をします。

**問** 国際交流事業についての考え方は。

**答** 歴史、文化、学術などの面で、諸外国との交流により相互理解と信頼を深め、国際化社会に対応する、生きる力の育成を目的としています。

**問** 国際交流事業への取

**答** 重要性は認識していますが、ハードルが少し高いと思っています。研修を重ねる中で検討し、直接的には、中学校の海外派遣事業を進めていき、今後の検討を進めていきます。



▲ 青森県平川市ホームステイ報告

**問** 中学生の海外修学旅行への取り組みは。

**答** 現時点では考えていませんが、今後の研究課題とします。

**問** 課題の大きな部分は。

**答** 重要性は認識していますが、ハードルが少し高いと思っています。研修を重ねる中で検討し、直接的には、中学校の海外派遣事業を進めていき、今後の検討を進めていきます。

**答** 海外研修事業を来年度実施予定し、検証します。



相澤 榮 議員

**問** 事前調査の内容は。

**答** 教育委員会事務局から2人、中学校の教頭、主幹教諭、英語担当の3人、合わせて5人を予定しています。日程は29年1月11日から14日までの3泊4日の予定です。

**問** 修学旅行の実施項目

**答** 来年度は公募にて各学校から5人、計25人程度の規模で、時期は夏休み前半、一人16万円程度で実施、自己負担については検討しています。

**問** 将来的な修学旅行へつ

**答** 将来的な修学旅行へつなげていきます。

## 問 放射性廃棄物焼却不安多過ぎでは

**答** 市民を優先に考え職務全うしたい

福島第一原発事故によ

り宮城県内に放射性汚染廃棄物が放置されています。特別措置法では1kgあたり8000ベクレル以下は、一般廃棄物として取扱い可能としました。これまでの80倍です。

**問** 富谷市民の安全面、

風評被害、子どもたちに残す環境を第1に考えた判断をすべきでは。

**問** 放射性汚染物質は発

**答** 現時点で処理責任より、県内各地の生活環境の改善が必要と考えます。



▲ 仙台市石積埋立処分場

**問** 富谷市民の安全面、

風評被害、子どもたちに残す環境を第1に考えた判断をすべきでは。

**問** 放射性汚染物質は発

**答** 現時点で処理責任より、県内各地の生活環境の改善が必要と考えます。

**問** 放射性汚染物質は発

**答** 現時点で処理責任より、県内各地の生活環境の改善が必要と考えます。

全うしてまいります。



佐藤 聖子 議員

**問** 富谷市民の安全面、

**問** 仙台市は昨年放射性廃棄物を焼却し、石積埋立処分場に搬入しました。事前の申し入れは。

**問** 放射性汚染物質は発

**問** 放射性汚染物質は発

**問** 放射性汚染物質は発

**問** 放射性汚染物質は発

## 問 新生富谷市のリスクヘッジを問う

### 答 前向きに調査・検討する

将来予測されるリスクを予防・回避するために、原因・要因の抽出・

検討が必要不可欠です。

予見される問題を的確に捉え、事前に対応策を講じることで危険を回避することが可能となります。新たな成長点を迎えた富谷市において対応が必要な要素をつまびらかにし、注目の高い富谷市だからこそ、世間で騒がれている諸問題に対し策を講じる必要があります。事が起きてからの事態收拾

ではなく、事前の情報収集やシミュレーションが必要です。

また、交通インフラが整備されず、移動手段として車に頼らざるを得ない環境であれば、高齢運転者の事故は減少しませんが、しかし、交通インフラの整備には多額の財源と長い年数が必要です。

交通事故は、一つの事案で加害者と被害者という複数の犠牲者を生み出すことから、事前の対応策について質問します。

**問** 富谷市から交通事故犠牲者を生まないためにも、乗合タクシーのような即効性のある交通インフラの整備が必要では。

**答** 市民バスの現状、実証運行を含めて、しっかりと検証しながら、より良い市民の皆さんの交通の利便性につながるよう



齊藤 秀行 議員

に努力し、その上で個別の手法なり対策をとっていきます。

**問** とみや国際スイーツ博覧会の経済効果と開催時の問題点は。

**答** 十分な検証と改善を図ります。

**問** 街かどカフェの利用状況と現状の評価は。

**答** 富ヶ丘南部、富ヶ丘北部、鷹乃杜の各地域で週1回開催、各地区20〜40人ほど利用しています。会館の前がにぎやかになったと伺いました。

**問** 整備総合交付金などの制度や交付金を活用した街かどカフェの増設は。

**答** 有効な活用に向けて調査研究、検討します。

## 開かれた議会を目指し 議会報告会を 開催します。

日時：平成29年3月25日(土)  
14時～16時

会場：あけの平公民館

◆議員全員でお待ちしております。  
ぜひご参加ください。

## 議会を傍聴してみませんか

【平成29年 定例会 開会日予定】

- ◇ 第1回 2月21日(火)
- ◇ 第2回 6月2日(金)
- ◇ 第3回 8月31日(木)
- ◇ 第4回 12月1日(金)

詳しくは議会事務局へ  
お問い合わせください。  
TEL 358-0622



よりよいまちづくりのために

# 調査 しました

各委員会で、  
9月～12月までの  
議会閉会中に  
調査をしました。

## 各委員会の説明

総務常任委員会…市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

教育民生常任委員会…教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

産業建設常任委員会…経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

## コンビニ交付・納付と 空き家管理

調査先：総務部 税務課、市民生活課

総務常任委員会



◎調査日 10月31日

平成29年4月1日より  
実施予定のコンビニエン  
スストアの端末機による  
証明書交付と納付につい  
て、空き家・空き地の管  
理についてを調査しまし  
た。

住民票の写しなどがコ  
ンビニで取得できるよう  
になります。  
ただし、取得するため

にはマイナンバーカード  
の交付を受けていること  
が条件です。

納付に関しては固定資  
産税、市・県民税、軽自  
動車税、国民健康保険税  
などが対象予定で、住民  
サービスの向上につなが  
ると考えます。

「空き家等対策の推進に  
また、平成27年2月に

関する特別措置法」が施  
行され、本市においても  
本年度より正確な実態調  
査の実施、データベース  
の整備、システム化を推  
進中です。

市内においても、空き  
家が見受けられるので、  
対策の推進が必要と考  
えます。

## 放課後児童クラブ 民間委託で土曜日も運営

調査先：保健福祉部 子育て支援課



◎調査日 10月18日

平成29年4月1日から運営が直営から民間委託に変更されます。

近隣自治体の状況は指定管理やNPO法人へ委託の方向で、有料化の流れとなっています。

支援を必要とする児童や現在雇用している職員への対応は変わりません。

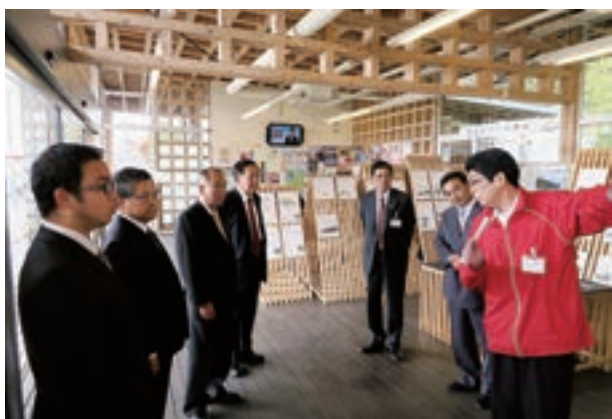
保護者から土曜日の開設や延長の要望があり、納税者の中には利用していない家庭もあるため、基本的には受益者負担を義務付けていかないと行政の負担が増えてしまいます。本市は、子どもが多いことは最大のメリットですが、10年20年後は一

気に高齢化が進み福祉サービス面の費用負担が増え、他の部門に影響が出るようであればなりません。

無料が有料になり、利用できなくなる子どもの心配もあります。保護者へ十分な説明が必要です。

## 地域貢献・福祉サービスを取り入れた道の駅

調査先：道の駅 じょうほん さと 上品の郷(石巻市)



◎調査日 11月14日

平成15年に三陸自動車道河北インターチェンジ設立計画を機に道の駅建設に着手、公設民営の施設です。市負担の施設管理費は無く民間が管理し、施設整備は協議しながら運営しています。

周辺6つの道の駅が連携し組織化を図り、弱い

部分を補い生き残りをかけて営業しています。感謝をもって接客し人的サービスを第一に行っていると説明を受けました。

公共施設のため利益の追求ではなく、地域貢献・福祉サービスを取り入れた温泉施設やイベントは年間200回ほど

行っています。施設内には地元生産者248人の生産物等、約8000種類の商品が並び、コンビニを併設し「わざわざ来てもらう」道の駅にするため、駅長と従業員が一丸となり販売していました。

# 議員全員協議会を開催しました

11月28日

## 【宮城県から説明】

- ①指定廃棄物等処理促進について

## 【執行部から説明】

- ①富谷市公の施設の指定管理者の指定の手続き等に関する条例の制定について
- ②富谷市内部組織設置条例の一部改正について
- ③富谷市子育て支援センター条例の制定について
- ④富谷市総合計画・前期基本計画（案）について
- ⑤地方創生拠点整備交付金充当事業について
- ⑥東日本大震災に係る災害見舞金等の利活用について

- ⑦放課後児童クラブ運営委託について
- ⑧福祉健康センターの指定管理移行について
- ⑨契約案件の報告について

12月6日

- ①有害鳥獣（イノシシ）駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める意見書採択を求める陳情書の取扱いについて
- ②地方議会議員の厚生年金への加入についての要望書の取扱いについて

## 議会活性化 調査特別委員会

12月6日

### ○市議会運営調査小委員会

- ①議会活性化策の検討について

### 【確認事項】

- ・地方自治法第96条2項の条例事項
- ・町の進捗状況の調査
- ・会議規則、委員会条例、先例集の検証
- ・議決を要する工事契約、財産取得

12月12日

### ○特別委員会

- ①議会活性化策の検討について
- ・政治倫理に関する調査について
- ②議会報告会について
- ・開催時期についての検討
- ・報告会の内容について

## 宮城県市議会議長会 秋季定期総会に出席

10月18日、石巻グランドホテルにおいて、宮城県内14市議会の正副議長、事務局長が出席し、宮城県市議会議長会秋季定期総会が開催されました。

宮城県市議会議長会長の仙台市議会岡部恒司議長からの挨拶の中で、富谷市議会の新市加入の歓迎の言葉をいただき、開催地である石巻市の丹野清議会議長並びに亀山絃市長から歓迎の挨拶をいただきました。

富谷市議会浅野幹雄議長は歓迎への御礼と市の紹介をしました。

その後会議に移り、平成27年度決算、国への要望事項等の審議を行い閉会しました。



富谷市議会の  
インターネット  
録画配信を  
しています

### 富谷市議会録画配信URL

<http://www.tomiya-city.stream.jfit.co.jp/>

富谷市議会インターネット

検索

減免適用はできるとしているが、事業者からの減免要望もない中での減免は、過分な行き過ぎた負担軽減行為であると断ずる。正規の手続きを経て決定されたものではないことは明白であり、市当局の厳正なる対処が望まれる。

また、文書の紛失、会議録の不備が開発負担金決定の経緯の解明に至らなかった理由の一つでもある。参考人や説明員への聴取が数度に及び多くの時間を要すこととなったことは、当時の最高責任者として若生英俊参考人は真摯に受け止めるべきである。

そして、議会への説明不足、会議録の不備は行政運営の透明性が著しく阻害されていることであり、このことは市民の知る権利をないがしろにするものである。

若生英俊参考人は、開発負担金は実質法的拘束力を持たないとしているが、過去において開発指導要綱に則した大規模開発によって、現在の富谷市街地が形成され、そして、本年10月10日念願の富谷市制施行が実現したことは紛れもない事実である。開発指導要綱をもって町が大規模開発に対応してきたことは、財政的にも、諸施策においても秩序あるまちづくりに貢献してきたと言える。

明石台東地区開発に伴う開発負担金の免除、減免は、今後の開発行為に多大なる影響を及ぼしていることは間違いなく、また、約3億円は最終的には全市民が負担したこととなると考えられ、行政サービスの低下をもたらしているとも考えられる。

そもそも開発負担金を減額するにあたり、その時に議会に説明をするべきであった。開発負担金免除はその後のまちづくりや財政等に多大な影響が予想され、また、免除、減免額も約3億円と大変大きなもので、説明をしなかったことは到底、理解、納得できるものではない。説明を行ってれば全庁にわたっての共有や市民への説明もでき、調査特別委員会は設置されることはなかったのではないかと考える。

開発負担金の免除、減免は新聞にも掲載され、議会報告会や議会への手紙等で市民から意見も寄せられるなど多くの市民の最大関心事である。

若生英俊参考人は前述のとおり、「お詫び申し上げたい。議会、町民への説明はやぶさかでない。議会の意思に従います」と発言し、「説明の機会があれば、何らやぶさかではありません。」との回答は余りにも受け身で、当時の行政執行の最高責任者として真に市民に対しての説明責任を果たさなければならない、との強い意志が感じられない。

開発負担金免除、減免は、不適切な手続きによって決定されたことは明らかであり、若生英俊参考人は説明並びに謝罪を、自ら、市民に向かって行い真摯に説明責任を果たすべきである。また、議会に対しても改めて説明と謝罪を行うべきである。

## 【附帯事項】

開発負担金の免除、減免は、前町長であった若生英俊参考人の独断で決定したものである。市当局は、条例に定められている水資源負担金の減免された4,744,800円に対して然るべき対処を取っていたいただきたい。

そして、文書の紛失、協議における会議録の不備、正式な処理規定を無視した事務手続行為はあってはならぬことである。再び、このようなことが起こらぬよう市当局に厳正なる対処と是正を求め、若生裕俊現市長の下、コンプライアンスの強化と再発防止への体制を取っていただきたい。

また、当調査特別委員会は、前町長である若生英俊議員に議会において、改めて説明と謝罪を求めるものである。今後開催される議会において、若生英俊議員に説明、謝罪を求めるよう浅野幹雄議長に要請する。

# 宅地開発負担金に関する調査特別委員会最終報告

平成28年第4回定例会において、議長に提出した調査特別委員会報告書の概要をお知らせします。  
詳しくはHPをご覧ください。

## I 特別委員会設置にいたる経緯

前任期における平成27年第2回定例会で議決、設置された富谷町明石台東地区開発に伴う「宅地開発負担金」の減免に関する調査特別委員会において、事情聴取のため参考人として若生英俊前町長に出席を要請したが、欠席であったため調査不十分となった。

平成27年8月12日の特別委員会の報告書で改選後においても引き続き調査が必要であるとし、継続調査が申し送られたことを受けて設置した。

## II 特別委員会の名称及び調査事項

1. 名称：富谷町明石台東地区開発に伴う「宅地開発負担金」に関する調査特別委員会（略称：宅地開発負担金に関する調査特別委員会）
2. 設置根拠：地方自治法第109条及び富谷市議会委員会条例第5条
3. 目的：明石台東地区開発に伴う「宅地開発負担金」に関する調査
4. 調査項目：①明石台東地区開発に伴い、開発指導要綱に基づく負担金決定の経緯に関する調査  
②その他開発負担金に関する調査
5. 委員定数：18人（議長及び当該者を除く全議員）
6. 調査期間：当該調査終了まで閉会中も調査することができる
7. 申し送り事項
  - ア. 開発指導要綱の果たす役割に関する町当局の認識について
  - イ. 開発負担金免除の決定に際して町当局としての総意は反映されたか
  - ウ. 開発負担金免除の目的は何だったのか、その目的は達成されたのか
  - エ. 今後の開発に際して行政としての公平性担保や信頼回復をどのように進めるか
  - オ. 損害賠償等法的措置も含めた今後の対応についてどのように考えるか
  - カ. 三つの重要文書がなぜ紛失したのか究明するとともに、責任の所在を明らかにすることが必要と考える

## III 調査内容及び結果

1. 調査日：

平成27年11月13日の第1回から平成28年12月8日の第18回にわたり、審議及び説明員（関係職員）、参考人からの聴取。また、正副委員長による聞き取り調査を実施。
2. 調査結果報告：

結論は、開発負担金決定に至った経緯は未だ不明ではあるが、総意を得た中での決定ではなく、前町長であった若生英俊参考人が独断で決定したものとする。不当な行為と言わざるを得ない。  
水資源負担金は、条例で定めており義務である。水資源負担金の一部減免は公益上の理由から



平成28年4月に、0～2歳児の認可保育園として新たにスタートしました。人間形成の中でとても大切な時期をお預かりしており、目に見える成長も著しい時期です。

ハイハイ、よちよち歩き、離乳食、トイレトレーニング等『初めて記念』に多く関われる喜びの中で過ぎていきます。

また、食育という観点から、畑の野菜を使って「ピザ」を作ったり、リンゴ狩りで収穫したリンゴで「アップルパイ」、地域交流も兼ね、はっと作り名人をお招きし

「はっと」を一緒に作るなど『クッキング』を楽しんでいます。

今後、子ども一人ひとりの笑顔がキラキラと輝き続けるように、保護者の方々や地域の方々との職員が連携し、「育つ・



育ち・育ちあいに大切に健やかな子どもの成長を見守っていきなさいと思います。

## <今月の表紙>

### 湯船寺本堂の欄間 「牡丹と唐獅子」

町区檀徒婦人方の寄贈によるものです。  
昭和41年12月20日、町の有形文化財に指定されました。

## 編集後記

富谷市になり、初めての新年を迎えました。市としてのまちづくりは、今年が本当のスタートです。市民の皆様とともに、新たな決意で、新しいまちづくりを進めてまいります。

議会だよりは前号から

紙面を大きく変えました。今号から表紙を富谷宿開宿から約400年の歴史をふまえ、市内の名所・旧跡シリーズで連載をします。先人たちへ思いを馳せ、掲載したいと思えます。

議会だよりを今年もよろしくお願ひ申し上げます。

広報委員 安住 稔幸

## みんなの広場

### 「730時間の浪費」

さとう みつる  
佐藤 充さん(日吉台)

私は、大学進学を機に富谷を離れ、4年前に実家をリフォームし、再び富谷での生活を始めました。

富谷は言わずと知れた仙台のベッドタウンです。市民の多くは仙台市中心部の学校や職場へ毎日往復1時間半から2時間の通勤時間を費やしています。

1日で考えるとたったの2時間です。しかし、仮にこれが1年間続くと730時間。30.4日分の時間となります。

つまり、富谷に限らず「ベッドタウン」に住み、中心都市への通勤、通学を行う者にとって1年のうち1カ月は目的地までの移動で時間を浪費していると言えるのです。

私の高校生活の貴重な青春の時間と体力を奪い取っていた公共交通環境は、20年近くたった今も改善されていません。

市民が否応無しに浪費する通勤、通学の時間を少しでも快適にすることで、「住みたいまち日本一」に近づくとおもいます。

